

## 景信山での感動の鍋パーティーと出会い（会山行）

（報告）IK

◎山行期日：2024年1月28日

◎メンバー：FY（L）、KM、SM、TM、FT、IK、他会員3人

会員相互の親睦と新たな交流を求めて企画された今回のほうとう鍋パーティー。当初楽しい内容にしようとして会員で考えたのは餅つき会でした。だが景信山小屋ではすでに予約は一杯で受け付けられないとのことで断念。話によるとこの日をもってこの小屋は閉鎖とのことで長い間親しんできた小屋がまた一つ消える寂しさを感じた。そこで考えられたのがほうとう鍋パーティー。各自が食材と500mlの水を持ち寄り行おうというもの。果たしてどうなるのかいろいろな意味で楽しい企画が持ち上がったわけである。

今回会員の6人に合わせてFYさんの関係団体の3人も初めて参加することになり、総勢9人で実施することになった。

高尾駅に集合。バス停で小仏行きに乗り出発。休日は2台の増発はゆったり座れて有難い。小仏バス停に着き、降車後、FYさんより今回参加の別団体の3人の方の紹介があった。そこでビックリはI姓が私も含めて3人もいたこと。全国順位15位のI姓がこんな少人数の中で出会えたことは幸先いい。

KMさんが先頭に立ち歩き始める。ご承知の通り最初は舗装道路がなだらかに続く。15分ほど歩いた右手に登山道が見えてくる。登山道に入ると急な坂道が続く。先ほどまでの舗装とは打って変わりギャップが激しい。しかしながら山間の歩きは心地いい。やっと林道になり雰囲気が高まる。9人が同じペースで歩むため ゆっくりと登山道を上がっていく。他団体の方は最近あまり山はやらなくなり、もっぱら町歩きが主であると話していた。その方々とも交流をしながら登っていく。少し視野が開けたところが有り最初の休憩をとる。休憩中に話題になったことがFYさんのバックの重さ。持ってみたらその重さに驚く。皆に担いでもらったり持ってもらったりしてその重さを実感。本人からは鍋パーティーのために鍋とワイン3L持ってきたと話があり、またまた驚かされる。何でもホットワインにするそうだ。この休憩地で頂上まで半分ほどの距離になった。

再び歩き始める。根っこが目立つ山らしい登山道が続く。30分ほど歩くと明るい分岐の道標のところに出る。そこで一休み。休み中にこの分岐を右に行くと夕焼け小焼けへの素晴らしい道があると情報提供してくれる人もいて 次の楽しみも見つかった。皆の顔も明るい。疲れは感じない。

もう一息だよと言いながら出発。ジグザグの道を上っていく。このあたりに来ると下山の人が多くなって来る。登山開始時に元気に追い越していった子供たちも戻ってきた。子供たちは明るく楽しそうだ。しばらく行くと左手にトイレが有り、頂上はもうすぐだ。左手に回ると展望台となり小屋になる。展望台の至る所に餅つきの臼が用意され臼の周りのベンチはすでに予約済みで私たちが座る場所はあまりない状態。そこで通り過ぎて上の広場へ移動。そこには9人がちょうど座れる適所が有り陣取る。



心地よい晴れ間の見事な頂上からの展望

すぐに食材やコンロを出して準備にかかる。FY さんの手作り味噌も披露された。味が楽しみ。ボンベをセットし鍋準備開始。皆が持ち寄った水や食材の野菜や肉を大量に入れて点火。出来上がりまで待つ。それにしても冬である。手はかじかみ出して寒さが身にしみてくる。寒さのせいもあるのか、それとも具材が多いせいか、なかなか沸騰しない。待ち遠しい。その間に SM さんから昆布巻き、ハヤトウリの漬物、大根のゆず巻き、FT 夫人から伊達巻きの差し入れが有り、味を楽しみながら日本酒で



豪華な差し入れの品々

乾杯。同時にホットワイン作り始まる。寒いのでこちらも待ち遠しい。まもなくホットワインが TM さんのオリジナルの調合で出来上がる。皆が我先にとマイカップを差し出し味わっていた。口々においしい、これはいいと大歓声が上がっていた。もう一杯とおかわりは続く。そんななか鍋がぐずぐずと鳴り始め煮込みが進む。鍋を眺めながら他団体の 3 人の方との声も弾む。やはりこの雰囲気と鍋の魅力が後押しするのだろう。会話が弾んでいるとついに鍋が出来上がった。食材が柔らかく食材からの出しと味噌が絡み合って最高の味となっていた。すごい寒さの中で一層おいしくなった。通りすがりに覗いていくハイカーもうらやましそうだ。



具だくさんのおいしい鍋

あっという間に鍋は一回目が終わる。2回目の鍋準備開始。今度もKMさんのおでんの具などめいめいが工夫した食材が豊富に入る。ボンベが効かなくなったようで新しいボンベと交換。さすがに効力アップ。

できあがるまで下の展望台に山楽会が餅つきをしているので挨拶に行く。最初FY代表とKMさんが行く。その後皆が出向く。Kさん、Aさんも元気に参加していた。刺身や餅をいただき、こちらからはワインを差し入れた。

2回目の鍋が出来上がり 皆が一斉に食べ出す。あっという間からになる。最後にほうとうとたくさんのカボチャを入れて、ほうとう鍋の準備。皆のおなかも大分一杯になってきたのでふとうは少し抑え気味に入れた。できあがるとカボチャもいい具合に煮込まれ 甘く味を楽しみ、ほうとうと絡めながらほおばった。中身は持ち替えるわけに行かないのですべて最後まで平らげた。皆の大食感寒ぶりに驚かされる。後片付け後 FTさんの助言の元に下山道を選び、下山。小仏峠を巻くようなショートカットの道で小仏バス停に着き バスで高尾駅にたどり着いた。



カボチャ入りほうとう鍋

《コースタイム》

小仏バス停(9:40) - 景信山登山口(10:00) - 頂上展望台(11:30) - 会食(14:30) - 下山分岐(15:00) - 小仏(15:30) - 高尾駅(16:00)